

かこ げんざい みらい ちきゅう
上川盆地の生い立ち「過去・現在・未来の地球」 常設展示室

～大陸のお引っ越し～



今から約2億5,000万年前、地球上にはパンゲアと呼ばれる巨大大陸があったと考えられています。この大陸は、現在の地球上の大陸をすべて合わせたものであり、やがて、それが分裂して現在のような海陸分布になったと考えられています。

大陸の分裂の原因の1つに、ホット・スポット(hot-spot)が考えられます。これは、マントルの下部から上昇し、アセノスフェアで横方向にひろがって一種の流れを生じていると考えられています。これが存在する場所では、大陸上に限らず大洋底でも数百kmの広範囲に渡り隆起することがよくあります。そして、その中心部では放射状(たいてい3方向)に割れ目ができていきますが、それが大陸上であれば(この場合、大陸部は海洋部に比べ熱を逃がしづらいと考えられる)、幾つかが結合することにより長い割れ目になり、やがて大陸は分裂していくと考えられています。中生代の初めに大西洋ができたきっかけや、現在のケニアを中心とした高地の多い東アフリカのアフリカ大地溝帯も、そのようなことが原因と考えられています。

現在のプレートの移動方向が、これからも継続されると仮定するならば、未来の地球は大西洋の拡大により太平洋が狭まり、オーストラリア大陸は日本と結合し、東アフリカはアフリカ大陸から分裂すると推定されます。

(学芸員 向井 正幸)

地学シートHP



旭川市博物館HP



地学 Sheets

Asahikawa City Museum